

地域力(住民同士のかかわりあい)について

日頃から行われている5つの取組(5つのチカラ)の状況や地域の暮らしの様子についてお聞きした結果を踏まえ、

<5つの取組(5つのチカラ)>

- ① あいさつの励行
- ② 多くのいろいろな住民の参加
- ③ 地域イベントの実施
- ④ 地域組織の人任せでない運営
- ⑤ まちのお宝の発掘(地域への興味・愛着の喚起)

- ・5つの取組が「地域力(※)」にどのような影響を与えるか、
 - ・「地域力」が「住みやすさ」にどのような影響を与えるか
- について分析した結果を紹介しています。

アンケートの設問については、立木茂雄地域コミュニティ活性化推進審議会会長(同志社大学社会学部教授)が集計結果を分析しました。

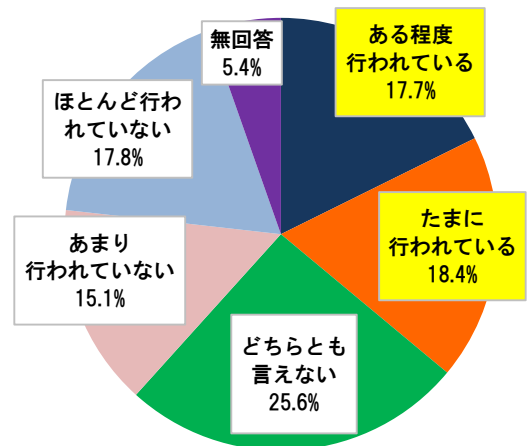
(※)本アンケートでは、地域力を「住民同士のかかわりあい」と定義しています。

地域活動の状況(学区・元学区における取組)

日ごろから地域で行われている取組の状況(5つのチカラ)について、お答えいただきました。「ある程度行われている」と「たまに行われている」の合計は**36.1%**でした。

<主な設問>

- ① 地元の多様な組織を、地域活動に巻き込もうとしている
- ② 地域課題解決のため、商店街などに参加を呼び掛けている
- ③ 自治会・町内会の未加入者に、地域活動の声掛けをしている
- ④ 子どもも大人も楽しめる行事をし、住民に参加を促している
- ⑤ 住民が主体となって、行事を開催するよう促している
- ⑥ 住民の意見をまとめ、地域活動の方向性を示す努力をしている
- ⑦ 地域の問題を、広く知ってもらうよう努めている
- ⑧ 地域の魅力を発信し、住民に知ってもらう機会を作っている
- ⑨ 近所同士や子どもが大人とあいさつをするよう促している



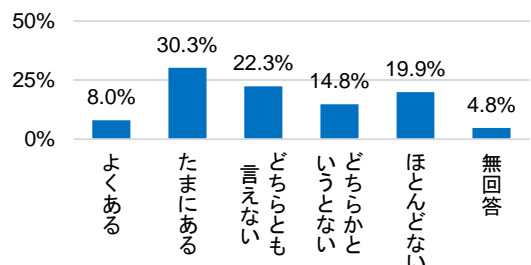
※各設問項目の回答割合の平均を示した図

地域力(住民同士のかかわりあい)

「よくある」と「たまにある」の合計が**38.3%**でした。

<主な設問>

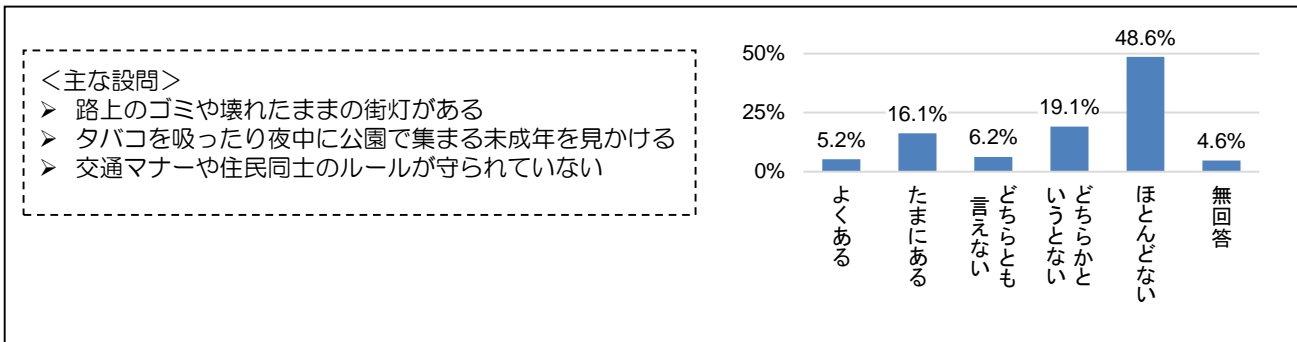
- 立ち話をしたり、趣味やスポーツを一緒にする
- おすそ分けやおみやげを渡したり貰ったりする
- ちょっとしたことでも助け合ったり、お互い友達になる



住みやすさ

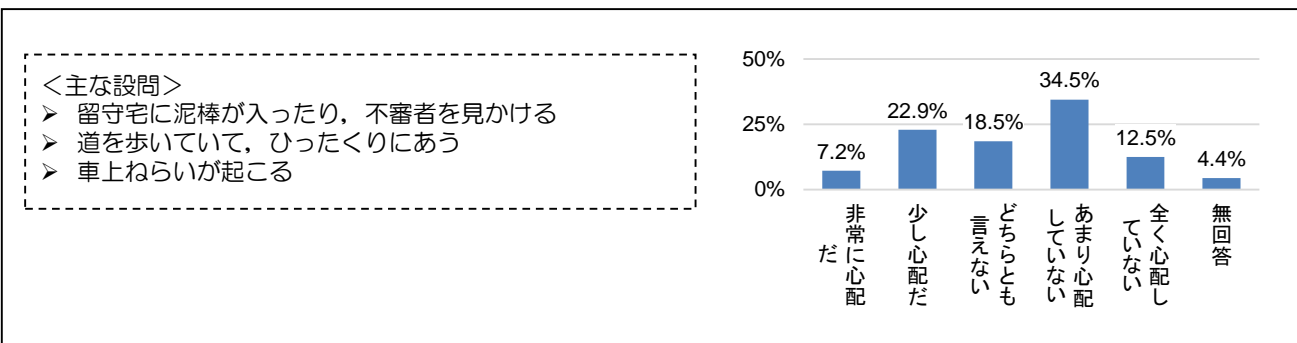
<社会生活のマナー等>

「マナー等が守られていないことはほとんどない」と「どちらかというとない」の合計は**67.7%**でした。



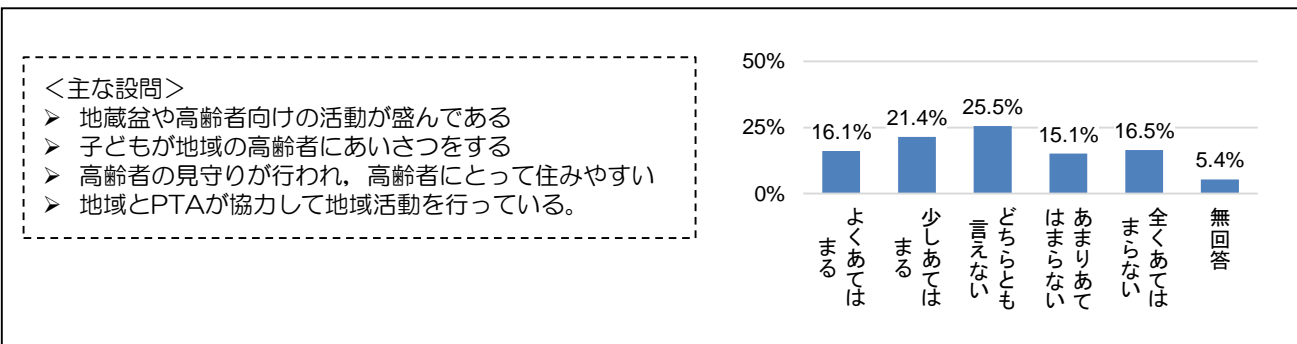
<安心・安全(犯罪不安感)>

「全く心配していない」と「あまり心配していない」の合計が**47.0%**でした。



<子育てのしやすさ・高齢者の住みやすさ>

「よくあてはまる」と「少しあてはまる」の合計が**37.5%**でした。



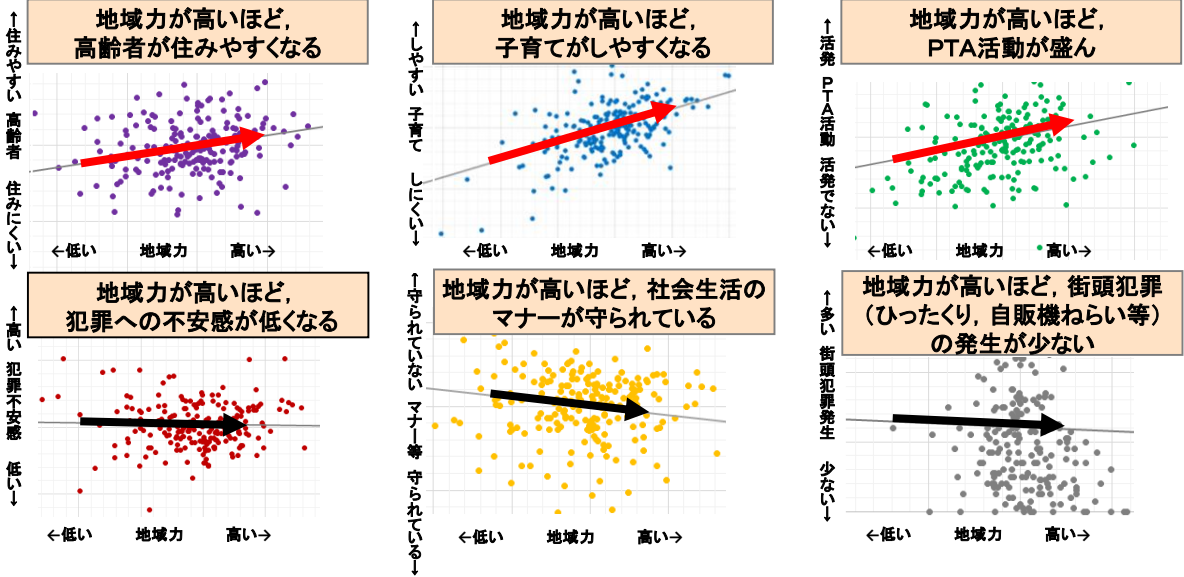
※各グラフ内の数値は各設問項目の回答割合の平均を示しています。
※各設問における回答の構成比の合計は、四捨五入の関係で100.0%にならない場合があります。

地域力(住民同士のかかわりあい)を高める効果とは！？

地域力を高めると・・・ 住みやすい地域になります！！

「地域力」が高いと、高齢者が住みやすく、子育てがしやすいと感じておられることが分かりました。また、「地域力」が高いと、街頭犯罪の発生(※)が少ない傾向があり、犯罪への不安感も低下することが分かりました。

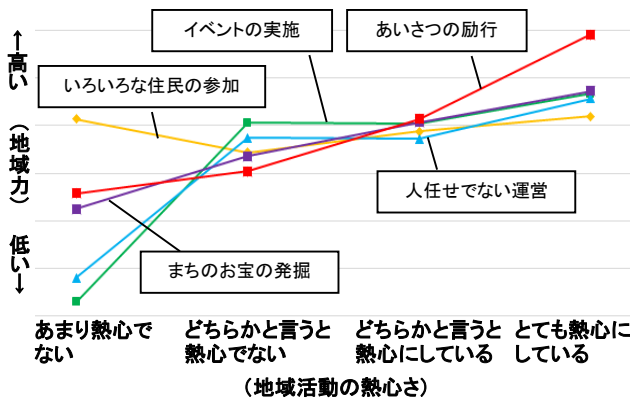
※犯罪統計出典：京都府警察



注)アンケート結果を元学区単位で集計した数値を「点」で、分析結果を赤・黒色の「矢印」で図に表しています。

地域力を高めるためには<5つのチカラ>がポイント！

地域力(住民同士のかかわりあい)と地域の取組



5つの取組を地域ぐるみで熱心に取り組むと、地域力を高める効果があることが、改めて確認できました！

- ◆ あいさつの励行
- ◆ 多くのいろいろな住民の参加
- ◆ 地域イベントの実施
- ◆ 地域組織の人任せでない運営
- ◆ まちのお宝の発掘(地域への興味・愛着の喚起)

地域コミュニティサポートセンターのご案内

自治会・町内会の運営や活性化などに関するご相談がありましたら、ぜひご連絡ください。

電話：222-3098(皆の輪でくらし安らぐ)

FAX：222-3042

地域力を高めるための手がかりとは →裏面へ
市民活動の担い手の一つである「NPO法人」と連携した取組事例を紹介しています。

地域の皆様とNPO法人による地域活性化に向けた取組

京都市内には約840のNPO法人が、福祉、まちづくり、文化・芸術等、様々な分野において、日々公益的な活動を行っておられます。本市ではNPO法人とともに地域の課題解消に取り組む自治会等の皆様を応援しており、今回、その一部の事例を紹介いたします。

～地域のお祭りが復活！住民間のつながりが生まれるきっかけに～

<伏見区竹田学区での取組事例>

悩み・背景

以前は自治会による大きなお祭りが行われていたが、住民の大半を占める市営住宅における高齢者世帯の増加などにより、次第に入居者同士のつながりが薄れ、担い手不足になった結果、お祭りが中断された。

解決策

「子育て世帯」にスポットを当て、子育て支援に取り組むNPO法人を中心に行政等の関係機関と自治会が手を組み、お祭りの復活だけでなく、子どもイベントの開催に向け、話し合いを重ねた。



成果

約30年ぶりにお祭りの復活に成功！地域での話し合いが活発になったことで、お祭り以外にも子どもがいきいきと楽しめるスポーツイベント等が定期的開催されるようになった！

～交通安全を楽しく学べるきっかけ作りを！次世代へ受け継ぐ活動に発展～

<中京区高倉学区での取組事例>

悩み・背景

交通量の多い場所に小学校があるため、PTAの中で小学生の交通安全に対する意識づくりを進めたい！低学年の中で毎年継続できる取組にしたい！という課題が、話し合われていた。

解決策

子どもの健全育成に取り組むNPO法人とPTAが連携し、2年生のアイデアを基にした交通安全すごろくを作成。また、事業への寄付を募り、安全ベストの購入を検討。



成果

児童がすごろくで遊びながら交通安全への理解を深めて学ぶ機会を、小学校の取組の一環として実施！また、安全ベストの購入も実現し、3年生進級時に新2年生への贈呈式を実施！

～里の魅力を広く多くの人に伝えたい！柚子を使った地域おこしを～

<右京区水尾学区での取組事例>

悩み・背景

里の高齢化が進み、柚子生産の後継者不足や、里を訪れる人も少なくなってきた姿が、日本の伝統文化の普及啓発に取り組むNPO法人の中で心配ごととして、話し合われていた。

解決策

行政が仲介役となり、地域の自治会とNPO法人が連携し、柚子とともに里の歴史文化を伝える講座を開催したり、行政主催イベントにも両者で出店することで、柚子を通して地域の魅力を広く発信した。



成果

従来から取り組んでいる里での野草の鑑賞会に加えて、新たに講演会・交流イベントや住民が講師となる講座が開催されるなど、里の応援者と地域が一丸となって魅力を発信！

～「本」を通してマンション内のきずなづくりにチャレンジ！～

＜右京区嵯峨野学区での取組事例＞

悩み・背景

新築後、間もなく結成されたマンション自治会の中で、住民間のつながりがまだまだ希薄なこともあり、相互理解や助け合いができる関係を作っていくことが課題になっていた。

解決策

地元で活動するNPO法人と連携して「本を通じた交流の場」づくりを企画し、マンション内に図書コーナーを設置。「本の大切さと関わり合いの大切さ」をテーマにした、NPO法人による演劇も披露。



成果

集いの図書館として常設に成功！マンション住民の入れ替わりがある中、現在も図書館の運営を行いつつ、自治会による秋祭りを行うなど、住民同士のコミュニティが活性化！

地域の活動に合ったNPO法人を見つけるには？（出会いのひろばのご案内）

「京都市 自治会・町内会 & NPOおうえんポータルサイト」では、NPO法人情報の公開を行うとともに、地域団体とNPO法人を結ぶ掲示板「出会いのひろば」を設けています。

「こんなことで困っている」「こんなことでお手伝いできる」といった情報を掲載して、連携先を探してみましょう！

京都市 NPO 出会い

検索

（マッチングの例）自治会・町内会等

地蔵盆や夏祭りの復活、継続を手伝ってもらえる団体を探しています。

お祭りの出し物がマンネリ化してきたので、出演者を募集します。

認知症のお年寄りに対する接し方の学習会をしたいので、講師になっていただける方を探しています。

NPO法人

市内のお祭りやイベントに関する情報発信・支援のきっかけを求めています。

伝統芸能の継承に取り組んでいるので、発表の場を求めています。

認知症のお年寄りに対する正しい知識を広めるために、出張講座や資料提供をしています。

この回覧についてのお問合せ先

京都市役所文化市民局地域自治推進室

【自治会・町内会関係】地域づくり推進担当

TEL：075-222-3049 Eメール：chiikizukuri@city.kyoto.lg.jp

【NPO関係】市民活動支援担当

TEL：075-222-4072 Eメール：shiminkatsudo@city.kyoto.lg.jp

FAX（共通）：075-222-3042

